

活動報告

北海道マラソン2023



麻生整形外科病院 萩生 大地



大会当日の研修の様子

8月27日に北海道マラソン2023が行われました。今年は47名の理学療法士が医師、看護師とともにサポートにあたりました。今年は例年以上の猛暑に見舞われ、大会当日もスタート時点で気温29℃、湿度78%とランナーにとって過去大会と比べても特に過酷な日となりました。また、雷雨の予報も出ていたため、救護テントでは熱中症対策に加え、低体温症対策のホットパックなども多く用意されました。予想通り正午過ぎまでは熱中症で搬送されるランナーが多く、午後には雨が降ってからは低体温症で搬送されるランナーが増えたため、その場で適切な対応が求められる大会となりました。

様々な対応はあったもののスタッフ、運営の皆様のご協力のもと大きなトラブルもなく選手サポートを終えることができました。来年度以降もランナーが安心安全に競技を行えるようサポートし、市民への啓蒙活動を継続させていきたいと思ひます。



実際の選手への対応場面



救護テントを慰問された鈴木知事と集合写真